



人権平和資料館開館25周年記念「收藏品」展

2019年9月6日（金）～10月6日（日）

1994年（平成6年）8月30日、福山市人権平和資料館開館以来25年が経過しました。

この間、市民の方々より寄贈された平和に関する貴重な資料等が数多く収集しております。

今回、その一部を公開するとともに、命の大切さ、戦争のない平和な社会を築いていくために、私たちが、今、何をしなければならないかを考えるものです。また、備後遺族会館のご協力により、戦争に関する貴重な資料（收藏品）も併せて展示します。



召集された兵士の「出征幟旗」



陸軍歩兵第四十一連隊除隊「記念杯」



福山空襲の実相を伝える米軍が記録したマイクロフィルム（全36巻）

人権と平和に関する資料を集めています！

- 同和問題をはじめとする人権に関わる運動の記録や資料。
- 戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える資料
写真・書籍・新聞・雑誌・映像・手紙・絵画
召集令状・連隊史・戦地からの手紙・遺書・遺品など。

人権平和資料館・備後遺族会館共催「講演会」

と き：9月15日（日） 13時30分～

ところ：福山市人権平和資料館

テーマ：「硫黄島の真実」

～遺骨収集の実相を語る～

講 師：竹之下 和雄さん

（日本戦没者遺骨収集推進協会専務理事）

2019 親子で学ぶ「市内戦争遺跡めぐり」

と き：9月29日（日）8時30分～正午

ところ：福山市内に残る空襲（軍事施設）跡を回り、戦争の悲惨さ、命の大切さを学びます。

対 象：小学生までの児童と保護者、中・高・大学生、及び平和学習に関心のある人。

締切日：9月15日（日）まで資料館へ

人権平和資料館開館 25 周年記念「収藏品」展につきまして、この紙面にて一部紹介します。



儀礼用軍服



警防団団長制服



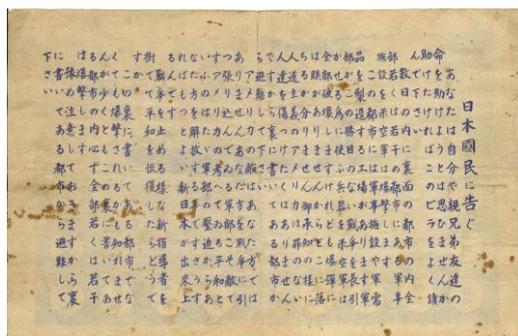
久留米戦車隊、福山駅に下車（写真）
(1925年9月26日)



陸軍福山歩兵第四十一聯隊営門（絵葉書）



福山空襲予告ピラ（伝単） *実物



福山空襲予告ピラ（裏面）



罹災証明書（実物）郵便切手貯金臺紙（実物） 軍隊日誌（実物）



陸軍射撃場（写真）

太平洋戦争が終わって、74 年が経過した今日、戦争の体験者は高齢化し、社会を構成する中心である世代は戦争の実体験を持たず、戦争は歴史上の出来事になりつつあります。

しかし、世界の各地では、今もなお紛争やテロ行為が頻発し、多くの尊い命が奪われています。こんな時代だからこそ、戦争の愚かさを風化させることなく、平和な社会を次世代の子どもたちに引き継いでいくために、福山市人権平和資料館開館 25 周年「収藏品」展を開催します。

「戦争は最大の人権侵害」であることを今一度訴えるものです。